

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 岐阜県医学生修学資金貸付金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111 (内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 398,276 千円 (前年度予算額： 379,353 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	379,353	0	0	0	0	0	379,353	0	0
要求額	398,276	0	0	0	0	0	398,276	0	0
決定額	398,276	0	0	0	0	0	398,276	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内の医師数は増加傾向にあるものの、依然、人口10万人あたりの医療従事医師数は全国平均を大きく下回っており、医師不足は深刻な状態となっている。

人口10万人あたり医療施設従事医師数	全国平均	262.1人
〃	岐阜県	231.5人

そのため、将来、県内の医療機関において勤務し、地域医療に貢献する意思のある医学生に対して、岐阜県医学生修学資金(第1種・第2種)の貸付けを行うより、県内の地域医療を担う医師を確保していく必要がある。

(2) 事業内容

将来、県内の医療機関において勤務し、地域医療に貢献する意思のある医学生に対して、岐阜県医学生修学資金(第1種・第2種)の貸付けを行う。

医師免許取得後一定期間県内医療機関で勤務した場合、返還を免除する。

平成31年度入試より、岐阜大学医学部地域枠で新たに「地域医療コース」の募集を開始する。地域医療コース入学者は、従来 of 修学資金に上乗せした額を貸与するが、医師免許取得後出身市町村で一定期間勤務する必要がある。なお、上乗せ分の修学資金については、出身市町村が負担する。

【貸付対象者】

第1種：岐阜大学医学部地域枠入学者

第2種：岐阜大学医学部在学者（地域枠入学者を除く）及び他県の大学医学部在学者

【貸付金額】

第1種：入学金282千円（初年度のみ）、授業料535.8千円、
月額100千円（地域医療コース入学者：月額200千円）

第2種：月額100千円

【所要経費】

・新規分 80,499千円

第1種 68,499千円（@2,017.8千円×18名、3,217.8千円×10名）

第2種 12,000千円（@1,200千円×10名）

・継続分 317,777千円

第1種 288,077千円（@1,735.8千円×100名、2,935.8千円×39名）

第2種 29,700千円（@1,200千円×24名、900千円×1名）

（3）県負担・補助率の考え方

県単独事業（地域医療コース入学者に係る修学資金の上乗せ分については、当該学生の出身市町村が負担）

（4）類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
貸付金	398,276	将来県内で医師として勤務する医学生への貸付
合計	398,276	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

岐阜県医師確保計画（第8期岐阜県保健医療計画別冊）

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和5年度策定の「岐阜県医師確保計画（第8期岐阜県保健医療計画別冊）」の目標医師数を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H18)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①医療施設従事者医師数	3,641人	4,505人 (R4)	4,703人 (R8)	4,703人 (R8)	4,703人 (R9)	95.8%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	(1) 新規分 (33名) 第1種修学資金 (24名、うち地域医療コース8名) 第2種修学資金 (9名) (2) 継続分 (158名) 第1種修学資金 (131名)、第2種修学資金 (27名)
	指標① 目標：4,553 実績：4,295 達成率：94.3%
令和5年度	(1) 新規分 (34名) 第1種修学資金 (28名、うち地域医療コース7名) 第2種修学資金 (6名) (2) 継続分 (156名) 第1種修学資金 (130名)、第2種修学資金 (26名)
	指標① 目標：4,703 実績：4,505 達成率：95.8%
令和6年度	(1) 新規分 (36名) 第1種修学資金 (28名、うち地域医療コース6名) 第2種修学資金 (8名) (2) 継続分 (157名) 第1種修学資金 (130名)、第2種修学資金 (27名)
	指標① 目標：4,703 実績：4,505 達成率：95.8%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	県内の医療施設で勤務する医師の確保に直結するため、事業の必要性が高い。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	医学生修学資金受給者のうち、令和7年4月1日時点においては、県内の医療機関で38名が新たに臨床研修を開始し、313名が県内で業務に従事していることから、今後も着実に増加していくことが見込まれる。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	修学資金受給者の日々の管理事務において、受給者の状況を一覧にした台帳を整備することにより、効率的な管理が可能となった。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 当修学資金貸付事業は、岐阜県医師育成・確保コンソーシアムと一体となって行う事業であるため、今後、修学資金受給者に対しコンソーシアムを積極的にPRし、連携して医師の適正配置等に効果を発揮したい。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域医療の確保という強い県民ニーズがあり、岐阜県長期構想目標数値を含む一定の成果を挙げるまで継続すべき事業である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	